

日本人との会話

シャ チャン(sha chang)

ある日私は日本の学生と会って、直矢貴志と言う学生と会話をしました。直矢さんの専攻は法科ですから、卒業後弁護士になりたいそうです。日本の大学では試験がありませんから、アメリカの学生より日本の学生のほうが忙しくないです。私達は寮に住んでいますが、直矢さんは家に住んでいます。そして、直矢さんは洗濯や掃除をしなくて、ご飯を炊かなくて、皿洗いをしません。でも、家に住んでいるのは自由がないと思います。

日本の学生は暇の時にカラオケをする事が好きです。アメリカではカラオケは人気がありません。中華街でカラオケがあるのに、高いです。日本ではカラオケが安いからです、学生は時々カラオケをする事が出来ます。そして、野球と卓球は人気な運動です。私は漫画で日本の学生が野球をするのを見ました。アメリカでフテボルは一番人気な運動です。学校ではフテボルの選手は人気があります。

日本では、多くの学生がアルバイトをします。直矢さんは高校の時にハンバーガー屋でアルバイトをしました。中国では、高校の学生は忙しくて勉強をして、時間がないから、アルバイトをしない人が沢山います。それで、私はアルバイトをしませんでした。でも、アルバイトをするのはいいと思います。本で勉強をしない勉強をして、お金をもらいます。

直矢さんは多くの都市へ行きました。それは素晴らしいですね。私は多くの所へ行きたいのに、時間がありません。卒業後に旅行をしたいです。日本へ本当に行きたいから、直矢さんに東京でどこがおもしろいか聞きました。直矢さんはチズニーランドへ行く事がおもしろいと思いました。観覧車に乗る事が一番おもしろかったです。私は観覧車に乗ったから、とてもおもしろい体験でした。ロスアンゼルのチズニーランドで行ったら、東京のチズニーランドで違うものを見たいです。そして、新宿とお台場は商店街なので、買い物に行く事が出来ます。

日本の文化はアメリカの文化と違います。私達は直矢さんと会話をしたら、日本の文化を少しと聞きました。とても楽しかったです。私はまた日本の人と会って、会話をしたいです。

クリスティーナ フラビエー
L107b

日本人との会話

先々週の金曜日に私とキャロルとミントンさんは日本人と話しました。日本人はさとりと言います。さとりさんはプログラムのオルガナイザーです。日本語の勉強する理由を聞きました。私は語学を勉強したいしアニメと漫画が好きなので、日本語を習っています。さとりさんもジャンプを読みます。でも、アニメを見ません。さとりさんは私達はどんな漢字を知っていると聞きました。

「一、二、三、山、火」と答えて、笑いました。漢字の意味は分かりますけど、書くことと読むことはちょっと難しいです。

専攻について話しました。私達はカルテクの大学生だから、専攻は科学と数学です。でも、さとりさんは生物工学を勉強したくありません。科学論文が英語で書かれていますから、英語も専攻しなければなりません。さとりさんは二つの専攻がほしくありませんと言いました。アメリカ人の自国語は英語だから、英語専攻はいらないです。

さとりさんは英語は有用だし話す人が多いし、勉強しなければならないと思います。でも、私は英語は難しく面白くないと言いました。文法は複雑すぎます。私はイタリア語は英語より好きです。さとりさんは日本人だから、日本語を誇ります。さとりさんは中国語で話すことが出来ます。一年間中国で働きました。中国語を話すのは上手じゃないと言いましたけど。。。偶然にジョイに会いました。ジョイは私の友達で中国人です。さとりさんとジョイは中国語で話しました。私は上手だ話と思いました、でも、キャロルはさとりさんは日本語訛りがあると言いました。

さとりさんは北海道から来ました、だから、大阪弁はちょっと変だと思えます。「本当に日本語ですか。外国語のようです。」と言いました。でも、英語にも沢山方言トがあります。私はアメリカのサーザーンの方言とカリフォルニアの方言を説明しました。難しすぎました。さとりさんは分かりませんでした、でも、おかしかったです。さとりさんとの会話はとても楽しかったです。

短かった冬休み

二千九年の冬休みは十二月十一日から一月二日まででした。私はカルテック大学の初めての学期を終えてから、最後の週にたくさん試験がありました。ストレスがいっぱいだったので、イリノイへ帰りたかったです。でも、学校の友達と「さようなら」をいう時、私はとてもかなしかったです。でも、私と私のルームメートは同じ町に住んでいるから、私たちはいっしょにあそびました。試験を終えて飛行機で、家へ帰りました。カルテックから出る時、私はさびしかったですが、両親に会いたかったんです。

イリノイはカリフォルニアよりとてもさむいですから、カリフォルニアの天気が大好きです。イリノイへ帰った日、ちょっと雪がふりました。クリスマスの時、雪がとても大事ですので、カリフォルニアの冬は変だと思います。家に帰って、両親と私は一緒にたくさんおしゃべりをして、クリスマスの木を飾りました。あの日の晩、自分のベッドとお手洗いを使うのはすごかったです。

でも、冬休みの始めに病気になってしまいました。すぐに大丈夫になりましたが、私の高校へ行くことができませんでした。私は高校へ先生たちに会いに行きたかったんです。大丈夫になって、私は高校の友達とよくあそびました。私たち映画を見に行きました。それから、クリスマスと一緒にしました。でも、本当に私たちはたくさんの時に、おしゃべりをしました。私は働いた研究室も見に行きました。ホリデのために、私は先生にチョコレートをさしあげました。

私はこのふゆやすむに、両親とあそんだ時が多かったです。私は一人っ子なので、遠い大学へ行っているのに、両親がさびしく感じます。だから、私は両親と一緒に映画を見るとき、レストランで食べるとき、料理をするとき、かいものをするとかしました。今日根ね野最後の日、私はねてしまいました。だから、友達と一緒にパーティへ行きました。イリノイから出た日、私と両親は悲しかったです。冬休みはとても短いようでした。

一月二日に、私はカルテックに帰りました。私はルームメートに本をあげました。それから、ルームメートは私に写真をくれました。冬休みが終わって、悲しく感じましたが、大学の友達に会ってうれしくなりました。

私の冬休みは大変楽しかったです。私のボーイフレンドにバージニアへ行きました。土曜日にロサンゼルス空港から出発しました。そして、次の日の晩に着きました。二日後、吹雪でした。パサデナはぜんぜん雪が降らないので、私は雪がみたかった。家の裏庭に雪だるまを作りました。

雪が降らなければ、フロリダのビーチへ運転して行こう思いました。雪が沢山降ったので、近くのワシントンD.C. で買物をしました。ショッピングモールはきれいなクリスマスツリーと装飾がありました。クリスマスの祝いと黒いブーツを買いました。ボーイフレンドは車がひつようです。赤いのと青いボルボのコンピュータ広告を見ました。ボルボは中が広いですから、ペットも車に乗るので、ボーイフレンドは好きです。買い物に行った後、車を聞いていきました。赤いのは古くて高かったです。青いのは早やくてきれいでしたので、買いました。

クリスマスの朝ごはんはおいしかったです。ソーセージとパンケーキと卵がありました。そして、クリスマスは家族でお祝いしました。私はボーイフレンドにネクタイを上げました。毎日病院で仕事をするから、ネクタイを着用します。ボーイフレンドはこの青いネクタイが大好きで、着用すると大変ハンサムです。それから、私はボーイフレンドに金のイヤリングをもらいました。ボーイフレンドの両親にレザージャケットをいただきました、でもちょっと大きすぎました。私達はプレゼントを開けるのが楽しかったです。いぬとこねこは新おもちゃで遊んで、うれしかったです。

おおみそかに立派な日本料理店に行きました。おすしと焼き鳥を食べました。そして、友達のパーティに一しゅっせきしました。友達と話してゲームを十二時までして遊びました。もちろんシャンパンとお酒を飲みました。

一月三日には、カルテクにかえりました。次の日、クラスが始まりました。私は長い冬休みがあれば、いいと思います。新しい年も一生懸命がんばります。

作文二

この火曜日、私とトムさんとシャさんとアンジーさんは日本の大学生の貴志直矢さんを面接しました。直矢さんは直前にカリフォルニアに到着していました。

直矢さんは慶應義塾大学に通っています。専攻は法学ですが弁護士になりたくないです。欲しがっている仕事は契約や特許を書くことです。直矢さんは東京の渋谷の近くに住んでいます。家族と住んでいて、お母さんに洗濯と美味しい料理をしてもらいますが、自分の部屋を掃除しなければいけません。直矢さんは二十才です。

私は日本にいる時、渋谷は変な所だと聞きました。直矢さんは、渋谷は違う地区もありますと言いました。一地区には奇妙な人がいますが、直矢さんは他の地区が好きです。でも、日本の中で一番好きな所はきれいな浜と遊園地がある町。

直矢さんは趣味のことをあまり話しませんでした。小さい時、スポーツをしてピアノが引けましたが、今は勉強で忙しいかも知りません。

高校の時、直矢さんはマクドナルドでアルバイトしました。新入社員でハンバーガーを作って、フライドポテトを揚げて、「いらっしゃいませ！」と「それと飲み物が欲しいですか」と言いました。（直矢さんはその仕事が好きかどうか触れなかったです。）二年の後にマネジャーになりました。まだ高校生でしたが、年上の人に命令しました。

多くの日本の学生と同様、直矢さんは何年も英語を勉強しました。新しい英語の文法が頭に入ってすぐ出ますと言いますが、そうじゃなくて、本当に英語が上手です。日本語で話している間、何時も難しい言葉を訳してくれました。

直矢さんはアメリカとアメリカの大学に興味があるそうです。一度にお父さんはニューヨークで働いて、直矢さんは自分でアメリカで旅行したかったです。ロサンゼルスにいる間に、USCで日本の音楽について講義をするはずですが、直矢さんが遠からずカリフォルニアに住むのを決めたらいいです。

会話は楽しかったです！

日本の大学生達

二月十九日の金曜日、私は日本から来た大学生達に会いました。その学生達は、ロスアンゼルスビジネスプログラムに参加する為にアメリカに来たそうです。日本の大学生達と話した後、くじ引きで一緒に昼ごはんを食べるパートナーを決めました。私のパートナーは東京大学に通っている舞さんでした。舞さんと一緒に食べた昼ごはんはとてもおいしかったです。

舞さんは東京大学でロシアの歴史を勉強しています。高校生の時に、東京大学に受かる為に勉強をたくさんしたそうです。だから、あまり他の事ができなかったそうです。舞さんにアメリカの大学受験の方法を教えてあげたら、とても驚いていました。日本では、試験を受けるだけですが、アメリカでは作文を書いたり、入っているクラブのことを書いたりします。舞さんはそんな文化の違いが好きだと言っていました。私はやっぱりアメリカの受験方法の方がいいと思いました。

昼ごはんはサンドイッチとポテトチップスとサラダでした。私は平田先生の薦めでイタリアンサンドイッチを選びました。とてもおいしかったです。舞さんはアメリカの食べ物の量はすごく多いと言っていました。私はアメリカの食べ物の量に慣れているから普通に感じました。でも、日本の食べ物は少ないけどとてもおいしいと思います。もし将来日本に行く機会があれば、たくさん日本の食べ物を食べたいです。舞さんと他の大学生達は、もし私が日本に行ったら、空港まで迎えに来てくれると言ってくれました。それを聞いて私はとても嬉しかったです。新しい友達に出会う機会を下さった平田先生に感謝しています。

サンドイッチを食べ終わった後、舞さんはカルテックの授業を見たいと言っていました。数日前にカリフォルニア大学、ロスアンゼルス校を訪問したのに、授業を一つも見られなかったと言っていました。今回も時間がなかったので舞さんに授業を見せる事が出来ませんでした。とても残念でした。でも私は舞さんと話が出来てとても楽しかったです。またいつか舞さんと日本の大学生達に会って、もっと話をしたいと思います。

ア
シャロン クオ
2010年3月5日

日本語二年
作文二

「日本人との会話」

二月十九日に、私とまいさんは会話をした。今年、まいさんは二年生だし、東京大学（東大）の学生だ。まいさんの専攻はロシア史だ。

その時は、まいさんの春休みだった。東大の春休みは三週間か四週間だ。ラッキーだなあ！カルテックの春休みはちょっと短い、、、まいさんは「ロサンゼルス経営学の留学プログラム」に参加して、ロサンゼルスへ来た。この留学生達はロサンゼルスでアンケートをくばった。それはマーケティングリサーチだ。まいさんはカリフォルニア大学ロサンゼルス校（UCLA）へ行った。でも、そこの授業に行かなかった。そして、まいさんはカルテックの授業と実験室に行きたい。でも、金曜日の午後だったので、カルテックの授業はもう終わっていた。カルテックの「core」の授業は午前だけど、東大の授業は午後だ。まいさんはここで皆が勉強しすぎと思った。

暇だったら、まいさんはニコニコ動画でビデオを見ている。ニコニコ動画でドラマとアニメを見ている。ニコニコ動画は日本の「YouTube」だ。まいさんの大好きなアイドルは三浦春馬だ。そして、まいさんは「Bloody Monday」のドラマを見た。最近、「Bloody Monday 2」のドラマを見た。私とまいさんは「野ブタをプロデュース」を見た。山下智久や亀梨和也や堀北真希は「野ブタをプロデュース」の主演俳優。山下と亀梨は日本の人気者だし、アイドルグループで歌う。日本では「NEWS」と「KAT-TUN」は有名なアイドルグループだ。そのアイドルは格好いいなあ、、、

日本では、大学の入学試験がある。その試験は難しいから、たくさん学生は学習塾に行く。課外活動は大切じゃないけど、試験が一番大切な事だ。そして、まいさんは「高校の時は、何もなかった。」と言った。日本の学生とアメリカの学生の違いは多いだろうか。

その昼、大きいサンドイッチを食べた。アメリカ料理は大きすぎると思った。日本では、外国料理がよく売れる。大勢の日本人はイタリア料理やアメリカ料理やスペイン料理が好きだ。でも、まいさんはアメリカ料理がちょっと油っこいと思う。

まいさんは面白いなあ。日本に住んでいる事は面白そうだ。私は将来に日本へ行きたい！

私の冬休み

エイミーラム

今度の冬休みは本当に忙しかったです。私は大学四年生ですから、大学院の申込書に記入しなければなりません。今、私は将来が一番心配なので、生物学の工学の申込書にたくさん記入しました。大学院の申込書はすべて長かったし、つまらなかったです。でも、書かなければならない作文はかなり同じでしたから、一週間だけで記入をかんせんしました。

申込書に記入する事は一番大事なことでしたが、冬休みの最初に、ボーイフレンドのヤンの家に行きました。彼はお母さんと弟さんとルイージアナのバトーンルージュに住んでいます、彼はポーランドで生まれました。ヤンさんのおばあさんとおじいさんはまだポーランドにすんでいます。

私は今度、一週間、彼の家にとまって、彼の家族と知り合いました。ヤンさんの弟は、十一才で、小学五年生です。サッカーと読む事とコンピューターゲームが大好きです。彼のお母さんは快活だし、出かけるのが好きです。でも、一人で彼の弟さんを世話しているし、ヤンさんと弟さんは出かける事があまり好きじゃないので、お母さんはあまり出かける事が出来ません。それから、ヤンさんと弟さんが家にいる間、お母さんと私は、買い物とコンサートに行きました。

ヤンさんも観光のために、出かけました。私たちはルイージアナのカピトルビルとニューオーリーーンズを見に行きました。ニューオーリーーンズでフランスの地区を歩いて、私の家族がいないので、お土産を買いました。ヤンさんの家族のクリスマスプレゼントも買わなければなりません。私はお母さんに、チョコレートを上げました。私が中学一年生の時に読んだ本を買って、弟さんに上げました。

一週間の後で、私は一人で家に帰りました。ヤンさんとヤンさんの家族が大好きですが、私は帰って、嬉しかったです。私の母はとても美味しい食べ物を作って、父と散歩をしました。家で、大学院の申込書に記入しました。記入した後、さっぱりしました。そして、従兄弟に七人会って、晩御飯を食べながら、話しました。高校の友達にも会いました。ほんとうにおもしろかったです。

クリスマスに、母にルイージアナからのお土産とタートルネックを上げて、父にお土産とDVDを三つあげました。私は、両親に新しいドレスとセーターをもらいました。実は、今、このセーターを着ています。家に、正月を過ごして、二日後で、カルテックに帰って来ました。これが私の冬休みでした。

Bobo Li
L107b
3/18/2010

日本人との会話

先週、たくさんの日本の大学生がカルテックに来ました。皆は、日本人で、私たちと一緒に昼ご飯の間に会話をしました。

私は、明治大学生の神野俊彦さんと話しました。神野さんは、二十歳です。十九才の弟がいます。東京から来ました。私は、ウハンから来ました。そう言ったら、神野さんもウハンに行ったことがあると教えてくれました。二人は、ウハンはあつすぎると思います。日本人は、日本の料理より、アメリカ料理が好きです。でも、神野さんは、好きですが、ちょっとあぶらっこいと思います。神野さんは、大学生に剣道とえんぎをしています。剣道は、十五年もしていました。音楽なら、神野さんは、二十年前の尾崎豊が好きです。ちょっと古いですけど、大好きだと言いました。神野さんは、皆と同じようにアニメが好きです。2005年の「クラナド」と、「ひぐらしのなくところに」が好きです。神野さんは、英語を練習するために、アメリカに来ました。サンタモニカでマーケティングをするつもりです。二日前、神野さんは、UCLAで、日本の文化のプレゼンテーションをしました。ここで、ネットブックで、メイドカフェを説明しました。

この時、神野さんは、私に日本の文化を教えてくれました。たとえば、日本で、皆アニメが好きです。株式会社スタジオジブリのアニメは特別に人気があります。それと、皆漫画も好きです。それなのに、どうじんアニメと漫画はあまり好きじゃありません。でも、皆コンピューターゲームが好きです。ゲームなら、サッカーゲームが一番いいです。日本人は、ギャンブルが好きです。神野さんも好きです。だから、ラスベガスに行きたいです。音楽なら、日本人は、ポップミュージックと外国の音楽が好きですが、クラシックミュージックはあまり好きじゃありません。それと、ポップグループのAKB48は人気があります。

会話をしたら、神野さんは、カルテックのツアーに行きました。カルテックはとても楽しかったとっていました。

ドン リー

日本人とのインタビュー

先週の土曜日、日本から来た大学生たちがカルテクの日本語のクラスの学生を招待した。でも、みんな一緒に行けなくて私とキョンハ先輩だけ行くようになった。私たちは夜7時、ロスにあるアパートに行った。アパートへ着いた時、まだ学生たちが料理していた。私はご飯ができ上がる前に人々とあいさつをした。その中の一人は明治大学から来た陣野俊彦さんだった。トシさんは明治大学で国際経営学を勉強していると言った。

トシさんと日本の人々はアメリカの日本企業でのビジネスセミナーのために二月十三日へアメリカに来た。トシさんは今度が初めて来たと言った。彼はカリフォルニアはどうですかという質問に日本と比べてカリフォルニアは暖かいし、道路が広いし、人種が多いと答えた。アメリカに来てから二週間ぐらいでその間おもしろい事がたくさんあったそうだ。第一週にはサンターモニカ、ハリウッドを観光して、UCLAでサーベイをした。そして、第二週には会計の授業を受けて銀行を訪ねて経営とビジネスについて習った。トシさんはチャイナタウンに行ったのが一番おもしろかったと言った。来週には人材派遣会社の企業人の話を聞く予定だ。そして、ノートルダム高校で日本の文化について発表する。トシさんはいろいろな人に会うのが楽しいと言った。

インタビューが終わって、みんなが集まって日本人は英語で、韓国人は日本語で一人ずつ自己紹介をした。そして、料理ができて食べ物を食べながら人々と話した。私は英語を使わなくて日本語で人々と話そうと努力した。私は日本人と長い時間の間話したことは初めてだし、少し緊張した。その前夜にも日本の映画を見ながら日本語の会話を練習したけど、あまり易くなかった。でも、人々が親切で優しく、親しくなることができた。今年の夏私が日本に行けばみんな一緒に遊びに行こうと約束した。

日本の学生との面会

私とボボリさんとジングジングフアングさんは二月十九日に陣野俊彦に面会しました。私は静かな所に行きたいから、私たちはダブニからプロヅカフェに行きました。歩く間に私は陣野さんに「カフェでは「きっさてん」とただしいですか」と質問をしました。陣野さんは若い人は「きっさてん」と言うが、若い人は「カフェ」と言うと言いました。そして、カフェに来てから、昼飯を食べました。

そして、私は陣野さんにどうして英語をならうかと質問をしました。陣野さんは仕事や外国へ行くからだと答えました。フアングさんは日本のどこから来たかと質問をしました。陣野さんは山野は東京から近いと答えました。リさんはどんな大学に通っているかと質問をしました。陣野さんは明治大学だと答えました。リさんとフアングさんは陣野さんに日本の中でどこへ行きたいかと質問をされました。リさんはあきはばらへ行きたいし、フアングさんは北海道へ行きたい。陣野さんは北海道のメロンはおいしいと言いました。

フアングさんは「アメリカ食が好きですか」と質問をしました。陣野さんは「はい。多くの日本人はアメリカ食が大好きですから、どこでもスタップクスとマクドナルドを探すことができます」と言いました。私はロスアンジェルスはどこへ行きたいかと質問をしました。陣野さんは「ロスアンジェルスはどこへも行きたくない。でもラスヴェガスに行きたい。やくざは賭けしますから、日本では賭けしてはいけません。だから、日本人はラスヴェガスで賭けすることができます。」と答えました。私は家族の質問をしました。陣野さんは「日本で父や母や祖父母や弟と住んでいます。わたしは二十歳で、弟は十九歳です。でも、わたしは浪人したから、私と弟は同じ年生。」と言いました。陣野さんはどんな音楽が好きかと質問をされました。

「私は三十年ぐらいまえ古い音楽を聞くことが好きで、とくに尾崎豊です。多くの日本人はポップと外国の音楽が好きです。」と答えました。陣野さんから「日本の学生はアメリカの学生の方が日本の学生より真面目だと思います」と聞いて、私はあきれました！アメリカの学生は日本の学生の方がアメリカの学生より真面目だと思います。

ミントン
三月五日
日本語の作文

聡さんと会話

前年、聡さんはロサンゼルスをたずねる行事でアメリカへ来ました。今、同じな行事の幹事です。聡さんは英語に上手で容易な日本語をよく使ったから、私は聡さんと話しやすかった。

聡さんは英語の勉強が大切だと思います。英語が国際的な語だから、計算機科学や工学や科学をしたければ、英語を話すことが出来ることが要ると言いました。それから、聡さんは英語や国際勉強を勉強しました。私は、その見地が分かります。アメリカ人は母国語が国際的な語だから、ラッキーです。アメリカ人は世界の万国から来る科学者や社員と話しやすい。でも、二ヶ国語を話すことが出来るのもいいです。新しい観点を得ます。それから、私は二ヶ国語を話すことが出来る人が少し羨ましいです。

聡さんは中国語も勉強します。下手だと言いましたなのに、中国人に会った時中国語でよく話しました。ひょっとしたら謙遜だった。でも、聡さんは下手だと言うことが私は上手だと言うことだと思います。一年間中国にすんでいたと言いました。これは聡さんが中国語を習うのに役立ちました。

聡さんは日本の北の田舎に住んでいます。大学へ行く前に大都会に住んだありませんでした。聡さんは大都会に住んでいるのが田舎に住んでいるのと異なると言いました。私も大都会に住んでいたことはありません。ロサンゼルスは本当に大きいですが、本当に広いですから私は大都会に住んでいないと思います。大都会は混んでいると思います。いつか大都会に住みたいです。でも、当初住みにくいと思います。

会話の間にだれかiPhoneを使いましたから、携帯について話し合いました。聡さんはアメリカでiPhoneや高機能携帯電話別が本当に流行っていますが、日本で流行っていませんと言いました。日本の普通の携帯はメールを出すことや写真を撮ることが出来ますから、高機能携帯電話は特殊じゃないと言いました。

日本人との会話 (revised)

先々週私とロバートさんとアンジーさんとシャさんは日本人の学生の貴志直矢と言う人と会話をしました。私たちはブロードラボの近くでランチを食べながら、色々な話をしました。直矢さんは今慶應義塾大学で法学を勉強しています。慶應高等部を卒業したから、試験を受けなくて入学しました。そして、大学を卒業した後で、法曹になりたくないですが、ビジネスをしたいと直矢さんは返答しました。

今度はカリフォルニアでビジネスプログラムがあったからアメリカに来たと直矢さんは言いました。でも、アメリカに来るのは初回じゃないと直矢さんは告げました。直矢さんは子供の時にニューヨークに住んでいました。日本に帰ったら、直矢さんのお父さんはよく写真を見ながら「アメリカはいいところだなあ」と言っていました。だから、直矢さんはアメリカに行きたかったと丁寧に説明しました。そして、直矢さんは去年の夏休みにニューヨークに行って、観光して、「アメリカはいいところだよ」と思いました。だから、卒業したら、ここで働きたいと直矢さんは告げました。

直矢さんは今両親と一緒に渋谷に住んでいます。直矢さんの両親は彼に御飯を作ってあげて、洗濯もしてあげるから直矢さんは家事をあまりしなくてもいいと言いました。直矢さんは子供の時に両親にピアノを弾かせられたから、ピアノを弾いたことがあるが、今はもう弾けません。直矢さんの趣味は音楽を聞く事とビジネス書を読む事です。彼は演歌やクラシック音楽よりジェイポップが好きなんです。漫画ならドラえもんやクレヨンしんちゃんが好きですが、今はあまり読まないと言いました。彼は旅行も好きだから、よく旅をします。直矢さんは今年の春休みにヨーロッパへ一ヶ月間に旅行して、八カ国の二十四町に行って、とても楽しかったと言いました。

ランチが終わった後で私たちはダブニーホールに帰りました。直矢さんは友達とカルテックのツアーに行きました。

私の冬休み

ドンイン シェン

私の冬休みは十二月十二日から一月三日までだった。最初の二週間には私はカリフォルニア工科大学で研究をした。それから、家族とクリスマスを祝った。最後の一週間には友達と一緒に遊んだ。面白い事をして、冬休みを楽しんだ。期末試験の後、すぐに分子生物学の研究を始めた。アスチゲリ先生の実験室に、大学院生の久代さんと一緒に働いた。顕微鏡で線維芽細胞の移動を観察した。重要なデータを纏めることが出来て、本当に嬉しかった。暇な時に英語の小説を読んだし、大学の舞踊部でアルゼンチンタンゴを学んだ。十二月十八日にタンゴのパーティーへ行って、五時間ぐらい踊っていた。優れたダンサーがいて美しい音楽や美味しいスナックがあったので、パーティーを楽しんだ。

実験を終わったら、クリスマス休暇を取った。クリスマスイヴに叔母の家を訪ねた。叔母は上海料理が上手なので、私は夕食に沢山食べた。蒸し魚と揚げ野菜が大好きだった。夕食後クリスマスプレゼントをもらった。叔父と叔母から英国のチョコレートや本屋のギフトカードをもらった。両親は私に美しい首飾りをくれた。私は好きな物をもらって、幸せだった。

クリスマス休暇の後に十二月にノースウェスタン大学を卒業した友達がシカゴからロスに来た。友達は美味しい料理が大好きなので、私たちは色々なレストランへ行った。リトル東京のしゃぶしゃぶやトーランスのラーメンやロスの有名なホットドッグを食べた。トーランスの拉麺は特に美味しかったから、もう一度食べたい。友達はショッピングも好きだった。だから、私たちはロスの大きなショッピングモールへ買い物に行った。モールで素敵な服を買ったし、

綺麗なクリスマスツリーと音楽噴水を見たし、写真を撮ったし、とても幸福だった。

私は大晦日にパーティへ行って、新年を迎えた。正月休みが終わったら、工学の教科書を読んで、新学期の準備をしていた。この冬休みに楽しい事を沢山して嬉しかった。次の冬休みも良いと思います。

私の冬休み（改訂版）

スマナーパン シリパット

前の冬休みは、初めてのカルテクで過ごした冬休みでした。以前タイで家族や友達とクリスマスや新年のお祝いを楽しみました。但しもう大学の四年生ですから、大学院に入学したいし、申込書に記入しなければなりません。だからカルテクにいて、色々な大学院に連絡して、入学申込書を終わりました。先生にも推薦状を頼みました。私のために書いてくれて、今でも感謝しています。

そのほかは、カルテクの友達と楽しいこともありました。ジャシイさんやナムさんと一緒に小東京へ二回行きました。そこでとても美味しい和食を食べて、カラオケでたくさん歌を歌いました。いい日本語の練習だと思います。ジャシイさんはカラオケが本当に上手です。彼女は私にいい歌い方を教えてみたんですけど、私なんて上手になれませんでした。ただ彼女の歌うのを聞くだけで、嬉しかったです。そして私たちは日本料理に興味がありますから、二回とも帰る前に日本の食料品店で見て回りました。そこで色々な材料を調べてから、面白い物を買って来たので、よかったです。

たまには友達と料理を作りました。日本料理以外中華料理かタイ料理を作ったこともあります。私たちは作った経験が少なかったし、誰も作り方をあまり知らなかったのです。けれど終わりになんだか美味しい食べ物が出来上がりました。作った後は普通に一緒に食べながら、楽しく喋りました。この方法で私たちは大金を費やすことはなく、楽しいことが出来ました。

クリスマスにはジャシイさんと一緒にオールドパサデナー巡りしました。イタリアの店でお昼ご飯を食べて、映画の「シャーロックホームズ」を見に行きました。その映画が大変好きだった。推理力とアクションの混合物でありましたから。その後ピッコモロのイタリアのアイスクリームも食べて、散歩しました。最後に晩御飯はお寿司を食べました。食べ過ぎてみたかったんですけど、美味しく嬉しかったです。私はいつもたくさん食べても構いません。だって私にとって食べることは大切な幸せです。

冬休みの終わりに初めてローズボウルの新年のパレードを友達と一緒に見に行きました。二時間ぐらいの待った後にパレードは出て来ました。その時素敵なおパレードを見て、待つ価値を悟りました。ジャッキーチェンさんにも出会えてとても興奮しました。ジャッキーチェンさんは笑っていて、皆に元気に手を振っていました。皆も元気に「ジャッキーチェン」と叫んでいました。その事件は私の二十十年の元日を忘れられない日にさせました。

「日本人との会話」

王アンジー

日本の大学生達は、カルテックに来ました。そして、私は、貴志直矢さんと話しました。貴志さんは、慶應義塾大学の二年生です。ビジネス弁護士に成りたいし、私達の発明品を売りたいそうです。貴志さんは、英語が本当に上手です。中学生の時から今まで英語を習っています。だから、私の日本語より貴志さんの英語の方が上手です。

貴志さんは、日本人の学生について話しました。子供の時、日本人は、両親に書道のクラスを受けさせられます。そして、バイオリンとピアノを弾かせられます。貴志さんも、ピアノを弾かせられました。でも、ピアノを弾くことが好きじゃなかったの、止めました。貴志さんは、小学生の時は、野球をしていました。今は、卓球をすることが好きです。

カラオケは、楽しいし安いので、週末の夜、日本の高校生は、カラオケ屋へ行きます。貴志さんの家から渋谷と新宿までは、バスに乗って三分しかかからないそうです。

日本の高校は、難しそうです。受験の勉強をするために、高校生は、学習塾に通います。貴志さんは、慶應義塾の高校に通いました。だから、試験を受けませんでした。暇がありました。高校生の時、貴志さんは、マクドナルドに勤めていました。始めは、ハンバーガーを作っていました。その後、キャッシャーになりました。毎日、「いらっしやいませ」と言います。マクドナルドの仕事を辞める前に、課長に昇進しました。

日本の大学生は、暇がたくさんあります。今、貴志さんは、両親と家に住んでいます。両親は、洗濯をして上げるし、おいしい食べ物を作って上げます。大学の寮に住んでいないのに、友達と遊ぶことが出来ます。横浜の近くに、慶應義塾大学があります。貴志さんは、横浜の海岸の風景と観覧車が大好きです。とてもきれいです。お台場も好きです。今年の夏は、お台場でガンダムの立像を建てました。

貴志さんとこのガンダムの立像について話しました。でも、貴志さんは、ガンダムのアニメを見ません。貴志さんは、クレヨンしんちゃんの漫画とドラえものの漫画を読みます。そして、専攻のために、貴志さんは、ビジネスについての本を読みます。でも、小説は、嫌いです。

今年の春は、ヨーロッパのスペインとフランスとポーランドへ行きました。アメリカに行きたかった。だから今年の夏、貴志さんは、ビジネスセミナーのために、一人でニューヨークへ行きました。今年、カリフォルニアの大学を見に来ました。カルテックへ来る前に、UCLAのパーティーへ行きました。そしてUSCで、日本の音楽についての口演をしました。

今、貴志さんは、私のFACEBOOKの友達。

私の新しい友達

二月十九日の金曜日に私は遅く起きました。だから日本の大学生達との昼御飯に行けませんでした。でも午後にキュンハを見つけて、キュンハと日本の大学生達をビアードパパへ連れて行きました。

私は陣野俊彦さんと話しました。陣野俊彦のニックネームはとしです。今、としは明治大学の一年生で、国際研究を勉強しています。としは英語を話すのが上手です。この旅立ちの前、としは一度もアメリカへ来たことがありませんでした。でもアメリカに来て、としはアメリカが大好きになりました。としのホテルはロスのヒルトンです。でも彼は一度もリトル東京へ行ったことがありません。私は彼に、リトル東京へ行ったほうがいいと教えてあげました。

私は日本の音楽が大好きです。毎週オリコンのランキングを見えています。そして私ととしはたくさん音楽のことを話しました。私の一番大好きなバンドはGReeeeNです。日本でGReeeeNのキセキという歌はとても人気があります。としはカラオケに行く時この歌を歌うのが一番好きです。だから彼はキセキの歌詞を知っています。そして私たちはビアードパパへ行く時この歌を歌いました。楽しかったです。としはケツメイシと青山テルマとAKB48も好きです。私はアメリカにいるのに、日本の音楽を知っています。としはびっくりしていました。としは私の一番好きなドラマ、「花より団子」も好きです。このドラマはおもしろいし、歌もいいです。としはアメリカで日本の影響力の作文を書く時、私の事を書くそうです。可笑しいと思いました。私も作文を書く時、としの事を書きます。

私はこの夏、インターンシップの為に日本へ行きます。関西地域へ行きます。でも大阪弁をまだ習っていません。日本の大学生達の中で一人は大阪弁を知っています。カルテックで習う日本語とは全然違ってきます。としは大阪の人はおもしろいと言っていました。としは私は大阪の人を好きになると言っていました。そしてとしは私に日本の楽しい所を教えてくださいました。あと大阪はたこ焼きとやきそばがおいしいそうです。東京へ行く時は新幹線に乗らなければならないと言っていました。仕事をした後、カラオケに行くと楽しいそうです。明治大学へ行けば、としは私にツアーに連れて行って行ってくれると言いました。

ビアードパパでクリームパフを食べました。おいしかったです。食べた後、日本の大学生は駅へ行かなければなりませんでした。私達はさよならと言ったけど、友達になれました。

大人になる事

大人になるとはどんな事でしょうか。体が大きくなる事？それだけじゃなく内面の成長も大事でしょう。私は幼い時からずっと立派な大人になるのを待ってきました。大人になれば人生の問題なんか少しも辛くなくなると思ったからです。もう二十一歳。大人になりました。でも、人生は子供の時思ったとおりじゃなかったです。人生は子供の時よりも幸せじゃなくなっていく気がします。年をとればとるほど、人生は全然易しくない事だと、段々分かってきます。

一番大変で辛いのは、自分の感情を隠さなければならない事です。もちろん、いつもそうしなきゃならない事はないが、悲しくても泣けない時とか、嬉しくないのに幸せそうに笑わなきゃダメな時とか、傷ついて死ぬほどつらくてもそれを隠さなきゃならない時は、自分がそんなに待った「大人になる事」はこんな日々だったかと考えます。

幸せは遠くある物じゃないとよく言われますが、本当にそうでしょうか。よく覚えてないですけど、幼いころいごころは、自分が欲しかった物が手に入ったら、やりたかった事ができれば、すぐ幸せになりました。しかし、今はそれだけではあまり幸せにはなりません。嬉しくはなります。でも、「幸せ」と言う表現は良く使わなくなりました。なぜでしょう。

私が今考えられる一つの理由は複雑になった人生です。大人になれば、幼いころより、もっと考えなきゃならない事が多くなります。それがただもっと勉強する科目が多くなることとか、友達が多くなることぐらいだけなら、問題ないでしょう。でも、近頃気付いたのは、人生が複雑になると言うことの本当の意味は、何か話す前やする前に、それが自分にどんな利益をもたらすかを考える事だと言うことです。それは本当に悲しいことです。私はまだそんな事ができるほど内面が成長していないようです。皆良く成長して立派にやるんですが、何で私だけがそれができず、いつも傷ついてしまうのでしょうか。

傷つきたくないなら、他の人たちのようにするしかありません。でも、私はそれが本当に良いことか、まだ分かりません。何で純粋のままにいられないのでしょうか。皆純粋な姿で、利益なんか考えなければ、だれも傷つかなくても良いのに。私はどう生きて行けば良いのでしょうか。

日本人との会話 (Revised)

今年私達と会話した日本人は真野悟でした。悟さんはもう去年アメリカに来ましたから今度はすべてを組織した人になりました。私達は昼ご飯を持ってミリカン池の近くに座って「何について話せばいいのかな」と考えました。最初は自己紹介をしました、そして悟さんはみんなに「どうして日本語を勉強している？」と聞きました。当然、私はアニメについて何かを言いましたけど、悟さんはアニメに興味はなかったからちょっと驚きました。

悟さんは一年間中国に住んで働きましたから中国語も上手でした。通り過ぎたりンさんとも中国語で少し話しました。中国にいた時は大連でITをしました。それはきつといい経験でしたけどやっぱり寂しかっただろうだと私は思います。私も去年の夏日本で働いたから色々な国の会社を比べて論じました。

中国では方言と訛りが山ほどありますから日本人にとってはちょっと分かりにくい。確かに中国人も関西弁などはダメですけど、中国では絶対に中国語だと分からないほど違う方言があります。そう思っていた私達はアメリカの方言について考え始めた。悟さんはそれについて詳しく知らなかったから聞いただけ。私が住んでいるジョージアには田舎の英語みたいな方言があります。そしてクリスティナはカリフォルニアから来たから普通の英語も「ヴァレーガール」の英語も知っています。

悟さんは工学を勉強する事を他の学科より面倒くさいだと思っています。それは工学を勉強したいなら、英語も勉強しなければならないからだ。そうしたら一つの学科を勉強するために二つの専攻を選ぶ事になります。私はアメリカで生まれたからそれを考えた事はないけど、確かにそういう事には英語が必要です。特にプログラム作成の時は、すべてのプログラム言語は英語の言葉を使うから「if」と「print」などの言葉が分からなかったら困ります。

昼ご飯が終わった後、私達三年生は日本人みんなにカルテックの一番面白いところを見せました。天気はそんなによくなかったけどミリカン図書館からの景色を見ました。それからフレミングの大砲を見に行きました。MITとの対抗、そしてカルテックの寮について話し、最後のビルはアネンバーグでした。私はそれをとても醜いビルだと思っているけど始めて見た日本人は面白いと思っていたようです。

短い期間でしたけど、悟さんとの会話は面白かった。外国人はみんなアメリカ人より他の国の語ができるからいつもすごいと思います。それに、色々な事について考えさせられたからいい経験だった。